平成 30 年度 ウィークエンド青少年セミナー 実施報告⑤

実施日：平成 30 年 12 月 22 日（土）

平成 30 年度ウィークエンド青少年セミナー第５回を、宇都宮大学陽東キャンパスに場所を戻して実施しました。

前半は、総合教育センターの開放事業「学びの杜の冬休み～ふれる・つくる・考える～」の中の「だがしや楽校」の企画から準備、運営までの演習全体についてふりかえりを行いました。そして、後半には事例発表や講話、演習をとおして得た経験を基に、ボランティア活動、まちづくり活動への礎作りを行いました。研修の締めくくりとなる閉講式では、栃木県総合教育センターからは髙野嘉子生涯学習部長が、宇都宮大学からは地域デザイン科学部の若園雄志郎准教授が参列し、受講生一人一人に修了証が手渡され、激励の挨拶がありました。この研修で学んだことや演習等の経験を生かし、今後は地域へ一歩踏み出して活躍することを期待しています！

演習「自分たちも何かやってみよう！復習編」

総合教育センターの開放事業「学びの杜の冬休み～ふれる・つくる・考える～」の中の「だがしや楽校」の企画から準備、運営までの演習全体について、班ごとにふりかえりを行い、全体共有を行いました。各班で熱心に議論され、意見や感想がたくさん交換されて、今回の実習が充実したものであったことが伺えました。これらの経験から、受講生は企画・運営に関する様々な視点をもつことができ、それぞれの「次の」活動につなげていく礎になったのではないかと思います。

＊受講生の声＊

〇活動を行ったままにするのではなくて、ふりかえりの時間をとることで、次の活動へつなげることができると思った。また、いろいろな人と意見交換することで、自分とは違う見方を知ることができよかった。

事例発表「活躍の場は学校だけじゃない！」

栃木市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課　副主幹　藤野　法之　氏
とちぎ高校生蔵部ＯＢＯＧ会　野尻　優奈　氏　大森　実彩希　氏
清水　慶也　氏　関口　実李　氏

最初に、栃木市教育委員会の藤野さんから「とちぎ高校生蔵部」設立の経緯や、組織としての目的や活動について、特に高校生と行政がなぜ手を組んで事業を進めているのかについてお話しいただきました。そして、とちぎ高校生蔵部ＯＢＯＧ会の方々には、個人として「やりたい」という気持ちから一歩踏み出して行動した経験や、組織として実践力を高め努力する姿勢をもつこと、みんなで楽しみながら活動を続けていることなどについてお話しいただきました。受講者のみなさんは、自分たちの力で社会の役に立つ同世代の実践に刺激を受けたようです。

＊受講生の声＊

〇若者が活躍できる場は現在たくさんあり、若者の力、アイデアなどが求められていると感じた。
〇まちづくりは、自分からアクションすることが重要であると感じた。
〇とちぎ高校生蔵部の発表を聞いて、まちづくりで自分（高校生）にできることがあり、チャレンジしたい気持ちが強くなった。

演習「自分を見つめてみよう」～自分のよさって何だろう？自分のやりたいことって何だろう？～

宇都宮大学　基盤教育センター　特任助教　石井　和也　氏

石井先生からは、「地図を描く」という行為から、地域に対する自分の見方や自分の持っている知識の再確認ができること、そこからまちづくりに関わる上で今の自分に必要なことを見い出すことができることなどをお話しいただきました。また、「地図を描く」ことを媒介にして、目的に応じて相手に情報を伝えるための、取捨選択を含めた情報の強調の仕方などについてもお話しいただきました。斬新な切り口での「まちづくり」に対する捉え方で、受講生にとっても目から鱗が落ちる思いだったのではないかと思います。

＊受講生の声＊

〇自分の地域について分かっているつもりでも分からないことが多かった。
　地図を描くという手段等を使って、今一度地域を知っていこうと思う。
〇自分の伝えたいことを伝えるために、目的が大切であり、それに
　関係のないことにおいて、正確さは重要でないこともあるという
　新たな視点を持つことができた。

＊研修をとおして～受講生の声＊

〇５日間とても充実していて、机上の学びから実践へとつなげ、最後の
　ふりかえりで学びがさらに深まった。
〇研修をとおして、高校生として大学生と関わりを持つことが
　できたことは、今後の活動にプラスになったり、大学生活を
　知ることができたりと世界が広がった。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで！
TEL:028-665-7206　　E-mail: shogai-c@tochigi-edu.ed.jp